



2026 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社リベルタ  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 透  
(コード番号 4935 東証スタンダード市場)  
問合せ先 専務取締役 二田 俊作  
(TEL. 03-5489-7661)

## 連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することについて、本日 2026 年 9 月 15 日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

(1) 2026 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

|                              | 売 上 高  | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株 当 たり<br>当 期<br>純 利 益 |
|------------------------------|--------|---------|---------|-------------------------|--------------------------|
|                              | 百万円    | 百万円     | 百万円     | 百万円                     | 円 銭                      |
| 前回発表予想 (A)                   | 13,200 | 350     | 250     | 127                     | 4.22                     |
| 今回修正予想 (B)                   | 10,500 | △ 415   | △ 500   | △ 670                   | △ 22.02                  |
| 増 減 額 (B - A)                | △2,700 | △ 765   | △ 750   | △ 797                   |                          |
| 増 減 率 ( % )                  | △20.5  | -       | -       | -                       |                          |
| (ご参考) 前期実績<br>(2025 年 12 月期) | 10,031 | 133     | 49      | 46                      | 1.54                     |

(注) 当社は、2026 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。前期実績の「1 株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割の影響を考慮し、2025 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した数値を記載しております。

#### (2) 修正の理由

##### 2026 年 12 月期通期連結業績予想の修正理由

2026 年 8 月 7 日の第 2 四半期決算発表時におきましては、季節要因等から売上高が予想を下回っていたものの、7 月以降の持ち直しを想定し通期業績予想を据え置いておりました。しかしながら、現時点までの夏季商戦の動向および期末商戦の想定を見直した結果、市場への情報開示の迅速性と透明性を高める観点より、今回、業績予想及び配当予想を修正することといたしました。

売上高につきましては、コスメジャンルにおいては前年に引き続き主力の「デンティス」の伸長や『ドン・キホーテ』向け限定商品の取り扱い拡大により堅調に推移し、浄水器・医

療機器ジャンルにおきましても新型浄水器や医療機器が計画通りに推移いたしました。一方、機能衣料ジャンルにおきましては、主力の「FREEZETECH」において、前年および前々年の販売動向を前提に、ホームセンター、スポーツ量販店、ゴルフ用品店、EC等の販路に向けて、これまでの営業活動による高い販売実績により各販路より高く評価されたことで、取扱店舗数の拡大が図れ、さらに1店舗当たりの販売数も前年を上回りました。しかしながら6月までの天候が前年・前々年と比較して猛暑日が少なかったこと、つづく7月及び8月も同様の傾向が続いたことに加え長雨などの影響から、売上高が計画を大幅に下回る見込みとなりました。また、トイレタリージャンルにおきましては、前年第3四半期よりリニューアル販売を開始した「さよならダニー」が、ダニ取り剤ジャンルのドラッグストア市場において上位の販売実績を上げることができたものの、取り扱い店舗数が想定に届かなかったこと等から計画を大幅に下回る結果となりました。その他ジャンルにおきましては、Watchにおいて企画品の発売が来期へ延期となったこと、ならびに健康美容機器においてEC限定新商品の販売が想定を下回ったこと、ならびに連結子会社（株式会社粧和）において九州エリアのドラッグストアへの導入時期が来期へ後ろ倒しとなったことや、シェア拡大に伴う拡販レポートの増加等から計画未達となりました。以上の結果、通期の売上高は10,500百万円（前回発表予想比2,700百万円減）を見込んでおります。

営業利益につきましては、売上高の未達に伴い売上総利益が計画を下回りました。加えて、販売費及び一般管理費において、「FREEZETECH」に対する計画通りのプロモーションの実施、これに伴う人員投資、ならびにEC強化に向けたプラットフォーム投資等を想定通り実施し費用を計上したことから、△415百万円（前回発表予想比765百万円減）を見込んでおります。

経常利益につきましては、△500百万円（前回発表予想比750百万円減）を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、2026年8月7日に公表いたしました「2026年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異および減損損失の計上に関するお知らせ」のとおり連結子会社（フジアンドチェリー株式会社）に係るのれんの減損損失を特別損失に計上したこと、また繰延税金資産の回収可能性および税効果会計上の会社分類について見直しを行った結果、繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額（損）を計上する見込みとなったこと等により、△670百万円（前回発表予想比797百万円減）を見込んでおります。

なお、単体業績予想につきましても、上記連結業績予想の修正とほぼ同様の理由により修正いたします。

※フジアンドチェリー株式会社は2024年8月1日付で当社へ吸収合併をしております。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

|             | 年間配当金（円） |           |           |
|-------------|----------|-----------|-----------|
|             | 第2四半期末   | 期 末       | 合 計       |
| 前 回 発 表 予 想 |          | 2 円 00 銭  | 2 円 00 銭  |
| 今 回 修 正 予 想 |          | 0 円 00 銭  | 0 円 00 銭  |
| 当 期 実 績     | 0 円 00 銭 |           |           |
| 前 期 実 績     | 0 円 00 銭 | 10 円 00 銭 | 10 円 00 銭 |

（注）当社は、2026 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。2025 年 12 月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の 2025 年 12 月期の 1 株当たり期末配当は 2 円 00 銭、1 株当たり年間配当は 2 円 00 銭となります。

(2) 修正の理由

当社は、株主資本利益率の向上に努めながら、配当性向を考慮した安定的な配当を重視し、長期的な経営基盤の確保と業績に応じた適正な利益配分を継続的に行うことを基本方針としております。

当期の配当予想につきましては、上記業績予想において親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなったこと、および今後の財務健全性と事業基盤の再構築を最優先とすることを総合的に勘案し、誠に遺憾ではございますが、2026 年 12 月期期末配当予想を「無配」に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復および復配に向け、全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

(別紙)  
連結業績予想及び配当予想の修正 (無配)  
に関する補足説明資料

# 2026年12月期 通期連結業績予想数値の修正

| 単位：百万円              | 25/12 通期<br>実績 | 26/12 通期<br>前回発表予想 (A) | 26/12 通期<br>今回発表予想 (B) | 増減額<br>(B－A) | 増減率<br>(%) | 前期比<br>(%) |
|---------------------|----------------|------------------------|------------------------|--------------|------------|------------|
| 売上高                 | 10,031         | 13,200                 | 10,500                 | ▲2,700       | ▲20.5      | 104.7      |
| コスメ                 | 4,237          | 4,601                  | 4,607                  | +5           | +0.1       | 108.7      |
| トイレタリー              | 2,500          | 2,776                  | 2,249                  | ▲526         | ▲19.0      | 89.9       |
| 機能衣料                | 1,125          | 2,437                  | 968                    | ▲1,469       | ▲60.3      | 86.0       |
| 浄水器・医療機器            | 929            | 1,280                  | 1,286                  | +6           | +0.5       | 138.5      |
| その他                 | 1,239          | 2,103                  | 1,388                  | ▲715         | ▲34.0      | 112.0      |
| 営業利益                | 133            | 350                    | ▲415                   | ▲765         | —          | —          |
| 経常利益                | 49             | 250                    | ▲500                   | ▲750         | —          | —          |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 46             | 127                    | ▲670                   | ▲797         | —          | —          |
| 1株当たり当期純利益<br>(円)   | 1.54           | 4.22                   | ▲22.02                 | —            | —          | —          |

※前回発表予想および今回修正予想が損失（▲）である項目につきましては、増減率（％）を「—」と記載しております。※当社は2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前期実績および前回発表予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。※2026年12月期の期末配当予想につきましては、誠に遺憾ながら「無配（0円00銭）」に修正させていただきます（詳細はP.5参照）。※商品ジャンル別の2025年12月期通期実績および2026年12月期前回予想は、当期のジャンル統合・組替を反映した数値を記載しております。※「FREEZETECH 衣類用冷感ミスト」につきましては、当期より「トイレタリー」から「機能衣料」ジャンルへ組替を行っております。

## 売上高における前回発表予想との差異要因

主力の機能衣料を中心に、天候要因や一部商品の取扱店舗数・発売時期等の影響により計画未達

### 【要因①】 機能衣料：主力の「FREEZETECH」の計画未達

#### 背景

- ・ Q2発表時は通期予想を据え置いておりましたが、現時点までの夏季商戦の動向および期末商戦の想定を見直した結果、業績動向について概ね見通しが立ったことから、透明性向上の観点より速やかに開示
- ・ これまでの継続的な営業活動による高い販売実績により、各販路から高く評価されたことで、取扱店舗数は順調に拡大
- ・ 一方で、前年・前々年に比べ猛暑日が少なかった影響により、店頭需要が想定を下回ったことに加え、例年売上を牽引していた猛暑関連のメディア露出が想定を大幅に下回ったこと等から、計画していた店舗拡販に至らず、またEC販売においても著しい反動減が発生し計画未達

### 【要因②】 トイレタリー・その他ジャンル：一部商品の店舗数未達および発売延期等

#### 背景

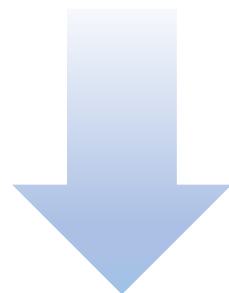
- ・ トイレタリー：リニューアルにより「さよならダニー」が市場上位の販売実績を確立し来期の成長基盤が整ったものの、取扱店舗数が想定に届かず計画未達
- ・ そ の 他：Watchの企画品発売が来期へ延期、健康美容機器のEC限定新商品の販売が計画未達  
連結子会社（株式会社粧和）において九州エリアドラッグストアへの導入時期が来期へ後ろ倒しとなったこと、ならびにシェア拡大に伴うリベート増加が影響

## 営業利益における前回発表予想との差異要因

売上未達に伴う売上総利益の減少に加え、**計画通り**のプロモーション等、投資を実行

前回発表予想（営業利益）

**350** 百万円



今回修正予想（営業利益）

**▲415** 百万円

### 1 「FREEZETECH」へのプロモーション

ブランド初となる特定地域限定でのTVCM放映等のプロモーションテストの実施と米国展開

#### ✓ 進捗・成果

今治造船等との4社共同開発によるBtoB販路拡大、米国・アジア・北欧地域での検証・採用拡大に向けた取り組み等、強固な事業基盤を構築

### 2 事業拡大に向けた人員投資

中期経営計画の成長戦略に基づき、「FREEZETECH」等の主力ブランド育成に向けた専門人材の採用・人員投資を計画通り実施

#### ✓ 進捗・成果

各販路（ホームセンター、スポーツ量販店、ゴルフ流通、EC等）における営業推進体制の強化

### 3 EC強化に向けたプラットフォーム投資

EC及び直販（D2C）の強化に向けたプラットフォーム投資の積極実行

#### ✓ 進捗・成果

直販体制の基盤強化および今後の新規商品ジャンル展開を支えるシステム基盤を整備

上記の重点投資により、**中長期的な収益基盤の強化と持続的な成長**を実現してまいります。

## 親会社株主に帰属する当期純利益の差異要因

将来リスクの早期解消に向けた特別損失の計上、業績予想の修正を踏まえた繰延税金資産の回収可能性の再検討、  
および財務健全性を最優先とした期末配当予想の修正（無配）

1

当期純利益の差異要因  
(特別損失および法人税等調整額（損）の計上)

前回発表予想（当期純利益）

**127 百万円**



今回修正予想（当期純利益）

**▲670 百万円**

- ・ 特別損失の計上（のれん減損損失）：▲71百万円

対象：連結子会社（フジアンドチェリー株式会社※）

目的：今後の確固たる収益構造の構築および財務健全化  
に向けた将来リスクの早期解消（資産最適化）の一環として計上

※フジアンドチェリー株式会社は2024年8月に当社へ吸収合併をしております。

- ・ 繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額（損）の計上：▲83百万円見込み

➡業績予想の修正を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性および税効果会計上の  
会社分類について見直しを実施

**将来リスク  
の早期解消**

2

配当予想の修正（無配）

|             | 年間配当金（円） |        |        |
|-------------|----------|--------|--------|
|             | 第2四半期末   | 期 末    | 合 計    |
| 前 回 発 表 予 想 |          | 2 円00銭 | 2 円00銭 |
| 今 回 修 正 予 想 |          | 0 円00銭 | 0 円00銭 |
| 当 期 実 績     | 0 円00銭   |        |        |
| 前 期 実 績     | 0 円00銭   | 10円00銭 | 10円00銭 |

(注) 2026年1月1日付の株式分割（1:5）考慮後の前期実績は期末2円00銭、年間2円00銭。

### 修正の理由・お詫び

当期純損失を計上する見込みとなったこと、および今後の財務健全性と事業  
基盤の再構築を最優先とすることを総合的に勘案し、誠に遺憾ながら期末配  
当予想を「無配」へ修正。

早期の業績回復および復配に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

**財務健全性と事業基盤の再構築を最優先とし、早期の業績回復・復配を目指してまいります。**

## 機能衣料「FREEZETECH」の今後の成長可能性と投資継続について

当期の積極投資により「各小売チェーンでの高評価」「セルアウト伸長」「BtoB需要開拓」の種まきを完了。  
来期以降の本格収益化に向け、「FREEZETECH」への重点投資を今後も継続

1

### 当期の実績と評価

- ・店頭セルアウト（実売数）は着実に伸長  
天候要因等で計画には届かなかったものの、店頭での実売総数自体は前年を上回り成長
- ・各小売チェーン・バイヤーからの高評価  
ホームセンターやスポーツ量販店等でブランド価値が高く評価され、強固な取引基盤を構築



2

### 確かな手応え・種まき

- ・企業からのワークウェアの引き合い増  
労働環境改善・熱中症予防対策を重視する大手製造・建設・物流企業等からの導入依頼が継続
- ・BtoB（法人ルート）での導入・検証が進捗  
今治造船等との共同開発を契機に、法人向け販路の開拓・実証が順調に拡大



3

### 今後の展開と方針

- ・「熱中症予防対策ソリューション」への進化  
ウェアと各種冷却ギアを組み合わせた「コンビネーションシステム」の展開を強化
- ・「種まき」から「収益化」へ  
当期の投資で構築したBtoC・BtoB双方の事業基盤を活かし、来期以降の収益化を加速



**「FREEZETECH」への戦略投資を継続し、  
世界展開も含め天候に左右されない事業構造への進化と来期以降の本格的な収益化を実現してまいります。**

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が資料作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提及び仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明または将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載のあらゆる情報は株式会社リベルタに帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

### お知らせ

来期以降の業績見通しや事業戦略等につきましては、現在精査中であり、確定次第速やかに公表いたします。なお、公平開示の観点より、個別のお問い合わせに対する未公表情報の回答は控えさせていただきますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ窓口**

MAIL : [ir@liberta.net](mailto:ir@liberta.net)